

第3期 天草市 栖本地域まちづくり計画 【概要版】

地域の概要

面積	人口	世帯数
32.89km ²	1,966人	749世帯

栖本地域は、天草諸島内の上島に位置し、北側は有明町、西側は本渡地域、東側は上天草市松島町及び倉岳町と接し、南側は八代海（不知火海）に面しています。町の約7割が森林に囲まれ、町の中央を天草で最大の河川“河内川”が流れ、南端は海に面していることから、海・山・川の美しい自然に囲まれた地域です。

また、栖本諏訪神社、年神社、小ヶ倉観音、円性寺など歴史のある寺社を有し、栖本諏訪神社例大祭では栖本太鼓踊りや獅子舞、とったかこせいが奉納されるなど独自の伝統芸能が継承され、歴史的文化的資源が豊富です。

産業面では、美しい自然の中で育まれる第1次産業が基幹産業であり、農業では葉タバコや米、イチゴ、ミニトマト、サラダ玉ねぎ等の野菜、デコポン、温州みかん等の柑橘類、また、黒毛和牛や天草大王の畜産が行われ、水産業では、鯛、トラフグ、ヒラメなどの養殖や、ちりめんなどの水産加工品の製造が行われています。

【管内地区振興会】○栖本地区振興会

栖本太鼓踊り



地域の特色及び課題

本地域においては、人口減少や少子高齢化の進展により、地域での支え合いや防災対応等の地域コミュニティの重要性が改めて再認識されているところです。それに加えて基幹産業である第1次産業の衰退により、生活が安定しない厳しい状況であります。このような現状を背景として、住民一人ひとりの主体的な取り組みを基本とし、地域住民総参加のまちづくりを推進するにあたり、以下のような特色及び課題があります。

部門	特色	課題
産業経済	○農産物が豊富 ○豊かな地域資源	○耕作放棄地が多い ○基幹産業の後継者不足 ○有害鳥獣による農作物被害の増大
観光 ・ 文化	○郷土芸能が盛ん ○豊かな自然が多い ○地域のイベントが盛ん	○伝統芸能の後継者不足 ○資源の活用・PR不足
地域振興 ・ 教育	○スポーツ活動が盛ん ○ボランティア活動が活発 ○イベントへの取り組みが積極的	○空き家、危険空き家の増加 ○地域リーダー育成や世代交代が進まない ○イベントへの参加者の減少
保健・医療 ・ 福祉	○高齢者サロンが充実 ○健康づくりの意識が高い ○教育環境が整っている	○高齢者の一人、二人暮らしの増加 ○公共交通の減少による高齢者の病院等への移動が不便
生活環境 ・ 防犯防災	○交通安全・防犯活動が活発 ○防災意識が高い ○自然環境保全の意識が高い	○非常時の避難に不安がある ○消防団員数の減少

めざす地域の姿

みんなが主役！絆深まるまちづくり

地域住民一人ひとりが主役となり、できることから始め、地域と人が輝くいきいきとした個性あるまち栖本づくりを推進します。

具体的な行動計画

1 ゆたかな生活を創造するまちづくり【産業経済部門】

- 地産地消・地産他消の推進
河童伝説等にまつわる既存商品（ストラップなど）やオリジナル焼酎の知名度向上を図り販売を促進する。また、新商品開発の可能性を探る。
- 地域農業の推進
地域農業を持続するため農業生産基盤整備事業を推進する。

2 地域の特性を活かすまちづくり【観光・文化部門】

- 観光・文化資源の活用
栖本温泉センター河童ロマン館を活用して、地域資源（自然、文化財、史跡等）を巡るウォーク、イベントなどを開催し、知名度の向上と交流人口の増加を図る。

3 心豊かで、思いやりのある人がいるまちづくり【地域振興・教育部門】

- 生涯スポーツの振興
町民参加型のスポーツデイを開催し、スポーツに親しむとともに住民相互の親交を図る。
- 移住定住の促進
ふるさと会との交流を図り、UJターンを促し、空き家対策・移住定住に繋げる。
- 青少年健全育成事業
寺子屋体験学習により、地域との交流を深め、伝統や歴史を学ぶ機会を提供し、健全育成に努める。

4 みんなで支え合い笑顔の輪をつなぐまちづくり【保健・医療・福祉部門】

- 公民館高齢者学級の開催
高齢者を支えるサロン活動を各地区公民館で実施する。
- 敬老会の開催
- 高齢者等福祉サービスの充実
町内高齢者に役立つ情報をまとめた冊子等を作成・配布する。また、乗合タクシー等の導入を促し、高齢者等の生活と地域との繋がり確保する。

5 地域住民自ら守り続けるまちづくり【生活環境・防犯防災部門】

- 環境保全活動の推進
河内川の清掃を実施し、地域住民の自然環境保全に対する意識の向上を図る。
- 花いっぱい運動
- 防災活動の推進
各地区自主防災組織による防災訓練を実施し、地域住民の防災に対する意識の向上を図る。
- シニアカー乗り方教室開催